

各 位

一丸ファルコス株式会社

## 一丸ファルコス、脳機能向け新食品原料「ARACA」を発売

天然食品用原料メーカーである一丸ファルコス株式会社（本社：岐阜県本巣市、代表取締役社長：安藤芳彦）は、2024年10月23日より脳機能向け新食品原料「ARACA」（アラカ）の発売を開始します。

一丸ファルコスは、インド・スリランカの伝統医学であるアーユルヴェーダにて記憶力を増進するハーブとされているツボクサ（別名ゴツコラ）に注目し、岐阜薬科大学との共同研究により脳神経細胞を用いて評価したところ、ツボクサ抽出物が脳機能向け素材として有用であることを見出しました。さらに、ツボクサ抽出物の有効成分がアラリアジオールであることを解明し、世界で初めてツボクサからの成分の単離にも成功しました。これらの研究内容は論文（*Journal of Pharmacological Sciences*, 2022, 148, 162-171.）にて既に発表されています。

アラリアジオールを有効成分とするツボクサ抽出物「ARACA」は、認知機能など脳機能の低下に悩む高齢者だけでなく、勉強や仕事で脳パフォーマンスを向上したい現役世代への提案も可能なブレインフードです。

高齢者の増加と共に、加齢により発症するアルツハイマー病に代表される神経変性疾患の患者数は年々増加しています。神経変性疾患とは脳や脊髄の神経細胞が障害・脱落され、運動や記憶などの機能が低下する状態を含み、その発症機構が明確でないため根治療法が存在しないことが問題となっています。

神経変性疾患の病変には酸化ストレスおよび小胞体ストレスなどが関与すると報告されています。酸化ストレスは、様々な刺激により脳内で活性酸素が産生されることにより脳神経細胞が死滅します。小胞体は細胞内でタンパク質の合成や品質管理を担っていますが、細胞がストレスなどにさらされると不良タンパク質の蓄積などにより細胞障害やアポトーシス（細胞死）が引き起こされます。これを小胞体ストレスといいます。酸化ストレスや小胞体ストレスによる脳神経細胞死は認知機能の低下へとつながります。

岐阜薬科大学との共同研究により、ツボクサ抽出物がストレス条件下における脳神経細胞保護作用を確認し、有効成分がアラリアジオールであることを突きとめました。ツボクサ抽出物およびアラリアジオールには、神経細胞への酸化ストレス抑制や小胞体ストレス抑制、これらのストレスによる細胞死を抑制する効果（図1：小胞体ストレスによる神経細胞死抑制）が確認されています。また、マウスにアラリアジオールあるいはARACAをあらかじめ投与することで、記憶障害の進行を抑制する効果があることを確認しています。

健康な被験者29名によるモニター試験においてARACA 100mg/日を6週間摂取したところ、計算問題の正解数、タイピングの正タイプ数の増加が認められました（図2：正タイプ数）。さらに脳負荷テスト後の疲労感が軽減されました（図3：脳負荷での疲労感）。

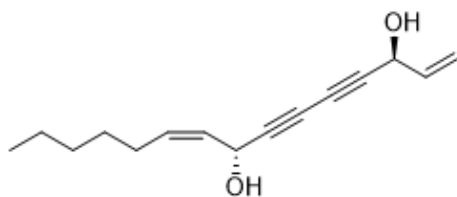
ARACAは認知機能改善から脳パフォーマンス向上まで期待できる世代を超えたブレインフードです。

【ツボクサ】



ツボクサ（学名：*Centella asiatica* (L.) Urban 別名：ゴツコラ）はアーユルヴェーダで最も重要なハーブのひとつです。古代インドでは治療と瞑想へ導く薬として用いられてきました。インドや東南アジアでは葉をサラダやスープ、カレーに入れて食べられています。

【アラリアジオール構造式】



一丸ファルコスの食品原料「ARACA」は有効成分アラリアジオールとトリテルペン類を含有するツボクサ抽出物です。特許製法（特許第 7160299 号）によりアラリアジオールを安定化に含有するツボクサ抽出物の製造が可能になりました。

製品名の ARACA は Araliadiol (アラリアジオール) と *Centella asiatica* (学名) からなる造語です。

「ARACA」製品概要

製品名：ARACA（読み：アラカ）

表示例：ツボクサ抽出物（ツボクサ抽出物、デキストリン）＜食品添加物の位置に＞シクロデキストリン、アラビアガム

お問い合わせ先：一丸ファルコス株式会社 営業部 販売促進課：那波（なわ）

TEL：058-320-1061, e-Mail：[press@ichimaru.co.jp](mailto:press@ichimaru.co.jp)

図表

図1 小胞体ストレスによる神経細胞死抑制

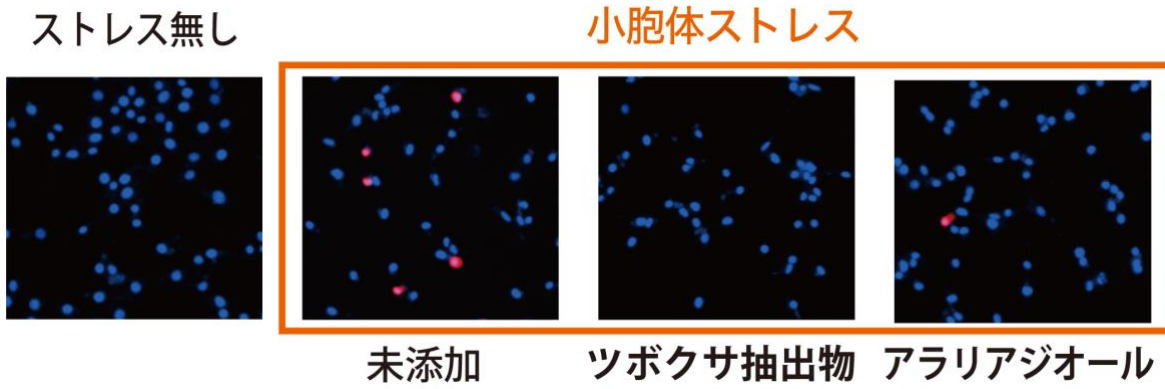


図2 「ARACA」摂取による正タイプ数の変化

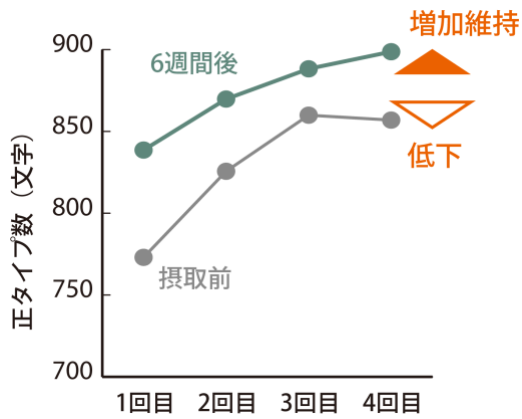


図3 「ARACA」摂取による脳負荷での疲労感の変化

